

博物館活用カード

活用学年及び時代	小学校 6 年 中学校	鎌倉時代
活用資料コーナー及び資料名	中世の文化 武蔵武士の分布図、河越氏略系図、河越館跡発掘調査全測図、河越館跡出土品、市内の鎌倉街道伝承地、銅鐘、町石	
資料についての解説	武蔵武士の分布図…川越には、河越氏、仙波氏、古尾谷氏などの武士団がいた。 河越氏略系図…重頼の妻が頼朝の息子の乳母であり、重頼の娘は義経の正室となる。 河越館跡発掘調査全測図…南北約 300m、東西約 240m の大きな館跡。 河越館跡出土品…青磁、白磁等の武士のステイタスシンボルとしての磁器や板草履、人形といった木製品等が出土している。 銅鐘…経重（つねしげ）が荘園内の新日吉山王宮に奉納した。また頼朝に処罰されたものの経重の頃には、銅鐘や、町石が奉納できるまでの権力があつたことがわかる。 町石…高野山の参道 20 k m にわたり約 108m 毎にこの石が置かれた。	
学習内容	・武蔵武士の分布図、河越氏略系図をもとに、川越の武士について調べること。 ・鎌倉幕府の権力や武士の生活について考えること。 ・河越氏も有力な武士であり、頼朝や義経とも関わりが深かつたこと。	
〔事前の学習〕 ①義経の活躍や鎌倉幕府における頼朝の政治の仕方 〔博物館での学習〕 ①川越にはどんな武士がいたのか。また、有名な武士がいるのかを調べてみよう。 ②市内の鎌倉街道伝承地パネルをみて、川越にも「いざ鎌倉」に向けて、どこに鎌倉道や武士の館跡があるかを調べてみよう。 ③館の中で武士は、どのような生活を送っていたのだろうか。出土した資料をもとにして考えてみよう。		 
評価の観点	・川越の武士について、略系図、武士の分布図をもとにしてどんな武士がいたかを調べることができる。技能・表現 ・川越にも武士がいたこと、館跡や鎌倉道があつたことを知り、鎌倉幕府と関わりがあつたことを理解する。知識・理解 ・出土した資料をもとにして、武士の館での生活を考えることができる。思考・判断	
活用のための留意事項	・ワークシートとともに教師の助言等が必要。あるいは、手がかりを得るためのヒントカードを個々に応じて配布するなど。	